



学校教育目標：自ら学び、人・物・自然を大切にする心豊かな子どもの育成

学校経営目標：地域に愛され、一人ひとりの児童が生き生きと輝く、明るく活気に満ちた学校づくりを推進する

海の学習

10月から11月にかけて遠足、宿泊研修と続きました。今回は、5年生の海の学習についてお伝えします。

11月5日(火)6日(水)と一泊二日で渋川青年の家に行きました。生活信条として「秩序」「友情」「実践」の3つの目標が掲げられています。子どもたちは、それぞれの意味を国語辞典で調べ、どんな時に、どんなところでできるかを一人ひとり考えました。また、箭田小学校の5年生として「心をひとつに」を合言葉に、頑張りました。

1日目のメインの活動は、カッター訓練です。3人、または2人で大きなオールを動かします。まずは2人(3人)で動きを揃えることが大変です。初めての動きになかなか思うようにはなりません。もちろんオールは1つではありません。カッター1艇を動かすのに全部で10本のオールを使います。この10本のオールの動きも揃えないとカッターは進まないのです。前のオールとぶつかって動かなくなったり、操作できなくなったり、オールを持っているのがやっという状態です。子どもたちは歯を食いしばって何とかオールの動きを揃えようと頑張りました。

少しずつ声がそろい、動きがそろいうちに、カッターも波をかき分けながら前に進んでいくようになりました。最後はどちらのカッターも砂浜からは見えなくらい、遠くまで行くことができました。

2日目は、地引網です。玉島小学校、連島南小学校の人たちと一緒に活動しました。

船で大きな網を海にまいていったのち、両端のロープを全員で引いていきます。網は少しずつ砂浜に近づいてきました。もう網が浜辺に上がろうとするのに、魚の姿がなかなか見えてきませんでした。最後に網を手繰り寄せていきます。しかし、魚の姿は…。この日の成果は、大きなボラ1匹、カワハギ1匹と小さな魚数匹でした。到底みんなで食べるには、十分な量ではありません。地球が抱える、食糧問題や環境問題についても考えさせられました。

この日は朝から風が強く、白波が立っていました。安全面を考えて2回目の地引網は中止することになりました。海の先生からは「これが自然の力なのです。人間は、自然には立ち向かうことができないのです。」と、いうお話がありました。地引網ができなかったことは残念だったかもしれませんが、海の怖さ、自然の偉大さを体感するという貴重な経験ができたことと思います。

